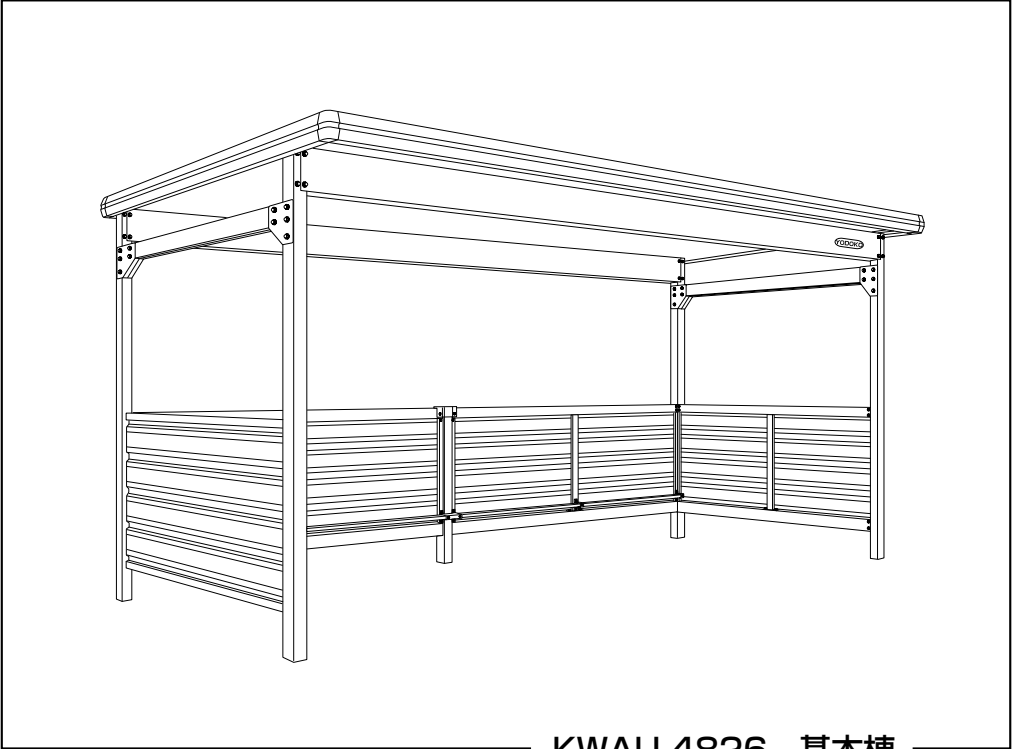


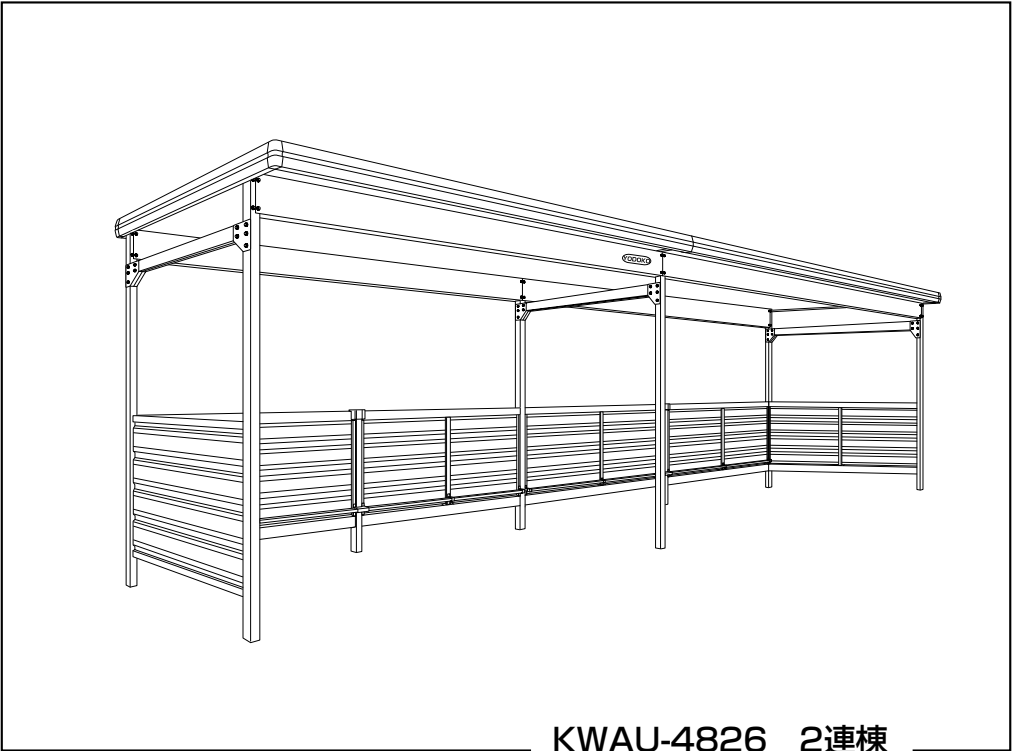
ヨド自転車置場

KWAU(豪雪地型) 組立説明書

このたびは「ヨド自転車置場」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
組み立てる前に、この「組立説明書」をかならずお読みください。



KWAU-4826 基本棟



KWAU-4826 2連棟

設置場所の制限

△注意

- 建物の屋上には設置しないでください。
- 避難通路にあたる場所には設置しないでください。
- 大屋根からの雨水や雪が、直接物置の屋根に落ちる場所には、設置しないでください。
- 崖のふち・風当たりの強い場所等安全の確認のできない場所には、設置しないでください。
- 給湯器の前には設置しないでください。

組立施工の際には

△注意

- 転倒防止工事を必ず行ってください。
- 仮組み用のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

お願い

- 組立の際には手袋を着用してください。
- 風の強い日・雨の日は、組立作業をさけてください。
- 高い足場が必要ときは、踏み台・脚立等安定した足場を使用してください。
- 組立後、各部のボルト・金具の忘れやゆるみがないか確認してください。

〈施工にあたって〉

- 1.まず、御注文通りの商品かどうかを確認してください。
- 2.部材の共通化のために、実際には使用しない孔のあいている部材がありますので、説明書に従って組立てください。
- 3.部材は、すべて、銅製ですので手を切らないようくれぐれもご注意ください。
（安全のため必ず手袋を着用してください。）
- 4.部材名称の右・左は、正面に向かって右側に取付く部材を右、左側に取付く部材を左とします。
- 5.部材の組立では、ボルトの孔を合わせて組立てください。ボルト孔が合わなかった場合は、ボルトをゆるめ、ボルトの孔位置を合わせてください。

棚包組合せ表				
棚包名	棚包番号	棚包重量	KWAU-4826	
			基本棟	追加棟
部 品	KW1-0102	23.0	1	
	KW1-0152	15.0		1
柱	KW1-0402	36.0	1	
	KW1-0404	36.0	1	
	KW1-0406	36.0		1
	KW1-0421	16.0	1	1
支柱	KW1-0451	24.0	2	1
柱補強	KW1-0503	40.0	1	1
	KW1-0504	40.0	1	1
	KW1-0505	36.0	2	2
胴縁	KW1-0602	33.0	1	1
	KW1-0603	27.0	1	
屋根	KW1-0902	15.0	8	8
	KW1-0952	8.5	1	
屋根部品	KW1-0954	8.0		1
	KW1-1002	16.0	1	1
壁※1	KW1-1003	14.0	1	
	KW1-1101	9.0	1	
鼻隠し	KW1-1103	9.0		1
ケラバ	KW1-1121	17.0	1	
梁	KW1-1601	18.0	2	1
			27	21

※1 壁棚包にはTS（チタニウムシルバー）・OR（ハッピーオレンジ）・GR（ポップグリーン）の3色があります。色があるている事を確認してください。

棚包内容表

●部品棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0102	鼻隠しコーナー樹脂	2
	ケラバコーナークーキング	2
	鼻隠し補強金具	1
	連結金具	2
	アンカープレートN	5
	鉄筋10φ×350	5
	ボルトセット一式	1
	CB三角プレート右(左)	各4
	C B 支柱キャップ	1
	車止めブラケット(1)	4
	CB車止めブラケット(4)	1
	補修塗料	1
	銘板	1
	組立説明書	1
	取扱説明書	1
	保証書	1
KW1-0152	鼻隠し補強金具	2
	鼻隠し接続金具	1
	連結金具	2
	クーキング	1
	アンカープレートN	3
	鉄筋10φ×350	3
	ボルトセット一式	1
	CB三角プレート右(左)	各2
	C B 支柱キャップ	1
	車止めブラケット(1)	2
	CB車止めブラケット(4)	2

●柱棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0402	C B 柱前U左28	1
	C B 柱後U左28	1
KW1-0404	C B 柱前U右28	1
	C B 柱後U右28	1
KW1-0406	C B 柱前U中28	1
	C B 柱後U中28	1

●支柱棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0421	C B 支柱間柱(KN)背	2
	額縁(KN)右、(左)	各2

●柱補強棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0451	C B 柱補強28	2

●桁棚包

梱包番号	部 材 名	数量
KW1-0503	C B 桁 4 8 S	1
KW1-0504	C B 桁 4 8 S P L 4 5	1
KW1-0505	C B 桁 補 強 4 8	1

●胴縁棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0602	C B 胴縁A24	1
	C B 胴縁B24	1
	C B 胴縁C24	2
	C B 車止めパイプ24	2
	C B 廻し縁24	2
	C B 胴縁C20	4
KW1-0603	間柱(6)	2
	額縁(6)	4
	C B 廻し縁20	2

●屋根棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0902	C B 屋根U26	1

●屋根部品棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-0952	端パネル受フレームB-N	4
	端パネル受フレームA	4
	パネル受フレーム88-I型	14
KW1-0954	端パネル受フレームA	6
	パネル受フレーム88-I型	14

●壁棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1002TS	C B 壁24TS	2
KW1-1002OR	C B 壁24OR	2
KW1-1002GR	C B 壁24GR	2
KW1-1003TS	C B 壁20TS	2
KW1-1003OR	C B 壁20OR	2
KW1-1003GR	C B 壁20GR	2

●鼻隠し棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1101	C B 鼻隠し48-A	1
KW1-1103	C B 鼻隠し48-B	1

●ケラバ棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1121	C B ケラバ左(右)	各1
	C B 上枠左(右)	各1

●梁棚包

棚包番号	部 材 名	数量
KW1-1601	C B 梁20	2

オプションベフ付屋根(標準屋根板と差し替え)

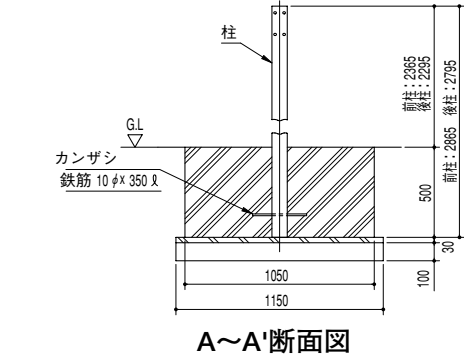
棚包名	棚包番号	KWAU-4826	
		基本棟	追加棟
CB屋根Uベフ付	KW1-0912	8	8

■基礎平面図・基礎断面図

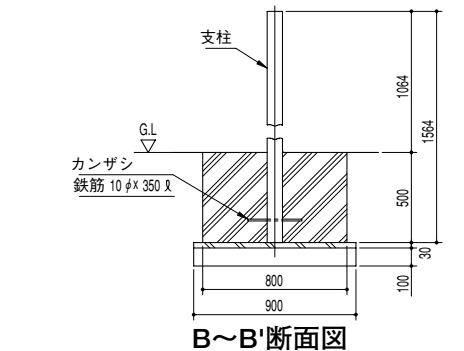
柱を建てる際に付属の仮組み用アンカープレートNを使用する場合としない場合を選択できます。
アンカープレートNを使用する場合は別途アンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）が必要となります。

注意 アンカープレートNは強度部材ではありませんので、使用しても基礎寸法を小さくすることはできません。

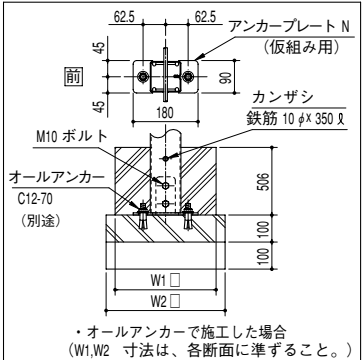
※仮組み用アンカープレートNを使用する場合は **2 柱の建て方** アンカープレートN孔位置図を参考にしてください。



A～A'断面図



B～B'断面図



※基礎・転倒防止工事については標準的施工方法とします。
軟弱地盤や、寒冷地等に設置する場合は、地域の実情に合わせてください。

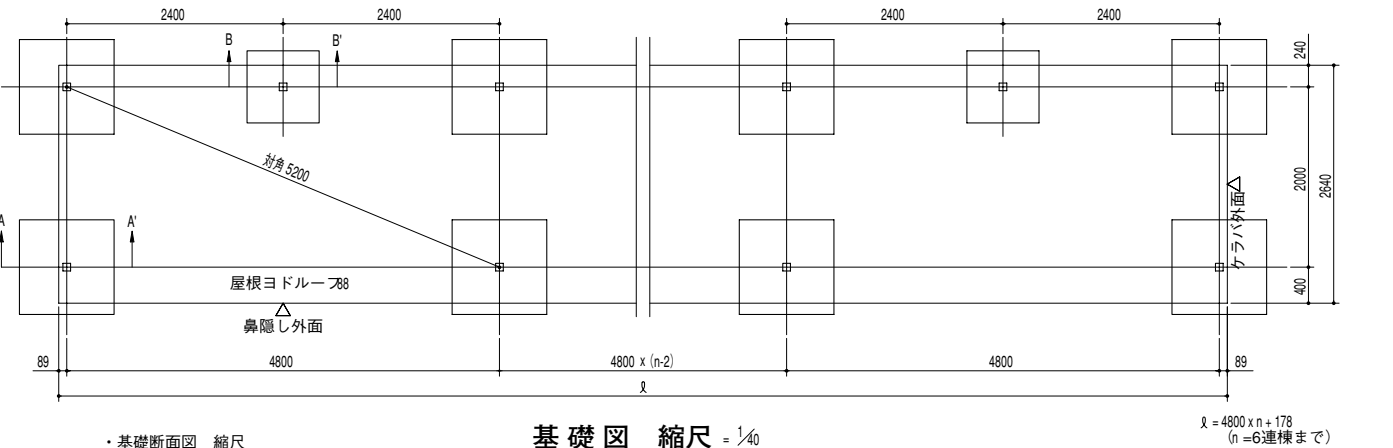
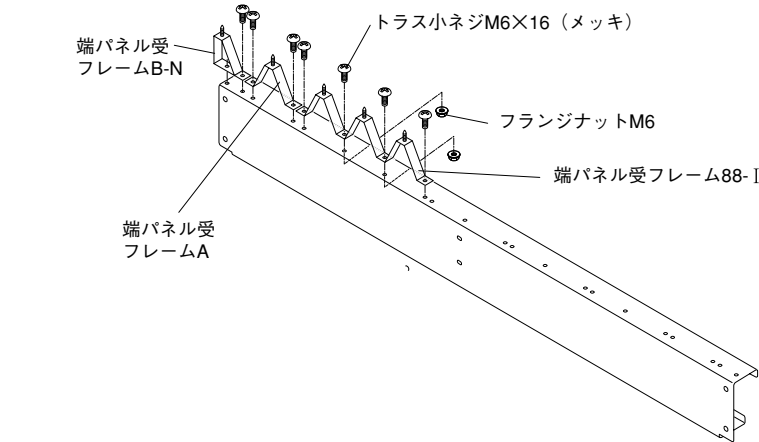
■組立に使用するボルト一覧(実物大)

ボルトM10×100



※組立て部材には保護フィルムを貼付けてあるものがあります。
必ずはがしてから組立を行ってください。

1 パネル受フレームの取付け



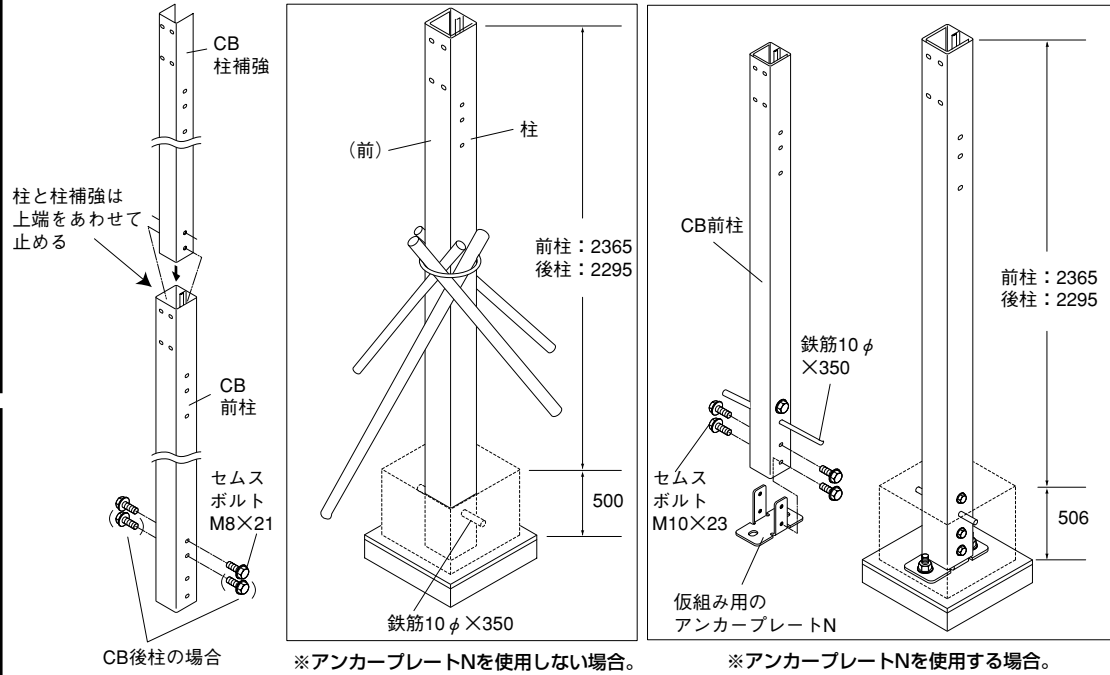
・基礎断面図 縮尺 1/40

基礎図 縮尺 1/40

※=4800×n+178 (n=6連棟まで)

2 柱の建て方

基礎図に従って、柱を建てます。



CB後柱の場合

※アンカープレートNを使用しない場合。

※アンカープレートNを使用する場合。
※仮組み用アンカープレートNを使用する場合の埋め込み量は506mmです。

※アンカープレートNを使用する場合のアンカーボルト（W1/2相当）又はオールアンカー（C12相当）は別途用意してください。

注意 柱は自立しませんので、上図部の様に、倒れない工夫をしてください。

柱配置

